

古文 係助詞「ぞ・なむ・や・か・こそ」識別 100題ドリル | 無料PDFと解答付き 問題編

組 番 氏名

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「ぞ」と結びを識別せよ。

花ぞ咲く。

Q2. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

月なむ清く照る。

Q3. 次の傍線部「や」と結びを識別せよ。

鳥や鳴く。

Q4. 次の傍線部「か」と結びを識別せよ。

君か思ふ。

Q5. 次の傍線部「こそ」と結びを識別せよ。

心こそ安けれ。

Q6. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

春ぞ来たる。

Q7. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

なほ我れこそ思ひ侍れ。

Q8. 次の傍線部「や」を識別せよ。

雨や降る。

Q9. 次の傍線部「か」を識別せよ。

いかなる人か心安からむ。

Q10. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

月こそ雲に隠るれ。

Q11. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

我れぞ知る。

Q12. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

鳥なむさへづる。

Q13. 次の傍線部「や」を識別せよ。

花散るやいまだ。

Q14. 次の傍線部「か」を識別せよ。

誰か来む。

Q15. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

山こそ深けれ。

Q16. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

鶯ぞ鳴き出づる。

Q17. 次の傍線部「や」を識別せよ。

風や強き。

Q18. 次の傍線部「か」を識別せよ。

何かよからむ。

Q19. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

春こそいとあはれなれ。

Q20. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

月の出づるを人ぞ待つ。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「やは」を識別せよ。

命やは惜しき。

Q22. 次の傍線部「かは」を識別せよ。

思ふ事かは忘れぬる。

Q23. 次の傍線部「こそ」を識別せよ（結びの逆接）。

物言はずこそよからめ、人見れば言ふ。

Q24. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

此処にぞ書きける。

Q25. 次の傍線部「なむ」を識別せよ（係助詞？終助詞？）。

早く花咲かなむ。

Q26. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

男なむありける。

Q27. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

我が思ふ人は誰ぞある。

Q28. 次の傍線部「や」を識別せよ。

春の夜のやみはあやなし梅の花色こそ見えね香やはかくるる。

Q29. 次の傍線部「か」を識別せよ。

いつれの御時にか女御更衣あまたさぶらひ給ひける。

Q30. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

春はぞあけぼのなる、と古人言ふ。

Q31. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

雪の白きにや、はや梅ぞひらく。

Q32. 次の傍線部「や」を識別せよ。

月やあらぬ春や昔の春ならぬ。

Q33. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

雪のいと高く降りたるをこそ見れ。

Q34. 次の傍線部「か」を識別せよ。

いかがせむとか思ひ給ふ。

Q35. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

木の間より漏り来る月の影見れば心づくしの秋ぞ来にける。

Q36. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

鶯のなき出でなむ。

Q37. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

鳥ぞねぐらに帰る。

Q38. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

花こそ散りけれ、若葉ぞ生ふる。

Q39. 次の傍線部「や」を識別せよ。

思ふ事やある。

Q40. 次の傍線部「か」を識別せよ。

知らで過ぐるか。

Q41. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

あはれとぞ思ふ。

Q42. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

我が宿の梅こそよけれ。

Q43. 次の傍線部「や」を識別せよ。

知らずや。

Q44. 次の傍線部「か」を識別せよ。

いづ方へか行く。

Q45. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

駿河なる宇津の山辺のうつつにも夢にも人にあはなむ。

Q46. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

大方は月ぞをかしき。

Q47. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

風こそ寒けれ。

Q48. 次の傍線部「や」を識別せよ。

鳴くや鳴かぬや。

Q49. 次の傍線部「か」を識別せよ。

嘆くとも嘆くともかは世はかへるべき。

Q50. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

心ぞ乱るる。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

山里は冬ぞさびしさまさりける。

Q52. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

人目も草もかれぬとおもへば、人こそ見えね。

Q53. 次の傍線部「や」を識別せよ。

嘆けとて月やはものを思はする。

Q54. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

いかにこそ世のうきことを忘るれ。

Q55. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

大伴の三津の浜松名にしおはば恋しき人ぞ寄りても見まし。

Q56. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

いざ、月見なむ。

Q57. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

あけぼのこそをかしけれ。

Q58. 次の傍線部「や」を識別せよ。

もはや春も過ぎやせぬらむ。

Q59. 次の傍線部「か」を識別せよ。

何か思ふ。

Q60. 次の傍線部「こそ」を識別せよ（結びの省略）。

あけぼのこそ。

Q61. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

此の歌ぞ良ろしき。

Q62. 次の傍線部「ものを」を識別せよ。

露とこたへて消えなましものを。

Q63. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

夢こそさめね。

Q64. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

風ぞ吹く。

Q65. 次の傍線部「か」を識別せよ。

君ならで誰にか見せむ梅の花。

Q66. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

月ぞ残れる。

Q67. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

雪降れこそいとあはれなれ。

Q68. 次の傍線部「や」を識別せよ。

我れと汝やは異なる。

Q69. 次の傍線部「か」を識別せよ。

何かは思ふらむ。

Q70. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

よみ人しらずぞ。

Q71. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

春こそ来たれ。

Q72. 次の傍線部「や」を識別せよ。

我れにいまだ知る人やある。

Q73. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

雪の朝に犬ぞ走る。

Q74. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

いまはこそさらに思はね。

Q75. 次の傍線部「か」を識別せよ。

いかなる人かかかる目を見るらむ。

Q76. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

此のごとくにぞ過ぎぬる。

Q77. 次の傍線部「や」を識別せよ。

いかにせましや。

Q78. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

暮れぬめりこそ急がめ。

Q79. 次の傍線部「か」を識別せよ。

誰かは来む。

Q80. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

月の出を待つ夜ぞ長き。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花、いとぞをかしき。

Q82. 次の傍線部「こそ」を識別せよ（結びの流れ）。

我れこそ思ひ侍るに、人は知らず。

Q83. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

道知れる人なむありける。

Q84. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

早く帰りなむ。

Q85. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

散らなむ。

Q86. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

いとあはれとぞおぼゆる。

Q87. 次の傍線部「や」を識別せよ。

月の出るを思ひ知らでやありけむ。

Q88. 次の傍線部「か」を識別せよ。

知る人か世にあらむ。

Q89. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

ものいはぬ世こそさびしけれ。

Q90. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

涙ぞこぼるる。

Q91. 次の傍線部「やは」を識別せよ。

命やは惜しき。

Q92. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

いかなる御代にぞ侍りし。

Q93. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

人こそつらけれ、世はうらめしからず。

Q94. 次の傍線部「か」を識別せよ。

知らぬものは何か。

Q95. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

あはれにもぞ思ひ知らるる。

Q96. 次の傍線部「や」を識別せよ。

此の世にあるもの皆夢や。

Q97. 次の傍線部「こそ」を識別せよ（結びの省略）。

山里は冬こそ。

Q98. 次の傍線部「ぞ」を識別せよ。

いづくも同じ秋の夕暮、寂しぞ。

Q99. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

我れもまた行かなむ。

Q100. 次の傍線部「こそ」を識別せよ。

あれこそ世に類なき名歌なれ。